

北海道厚沢部町 (2024 年度選定)

◆関連するゴール：



①事業実施内容

厚沢部町が抱える地域課題を解決するため、中学生以下の子どもがいる世帯を対象に町内産米を贈る子育て支援事業を実施。物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を助けると共に地場産品の消費拡大を図る。(専門家派遣日数：5 日間)

<役割分担>

自治体領域	公平な支援の実施	紙媒体／チラシ発送 対象者確認／情報管理 町公式 LINE／町広報誌活用
専門家領域	現地の生産者やお米の魅力を伝えるクリエイティブ設計	あっさぶこどもみらい新聞 えらべるデジタルギフトページ
	持続的・継続的なコミュニケーションにつながる事業設計	ありがとうカード あっさぶこどもみらい新聞
	自治体及び生産者の負担を軽減するデジタル配布設計	えらべるデジタルギフト 生産者公募推進



②事業費用

契約金額：1,980,000 円

<内訳>

- ・ 専門家派遣に係る人件費：150,000 円 (30,000 円×5 日)
- ・ 物品購入費：1,425,000 円 (@5,000 円×285 人)
- ・ 企画制作費：405,000 円

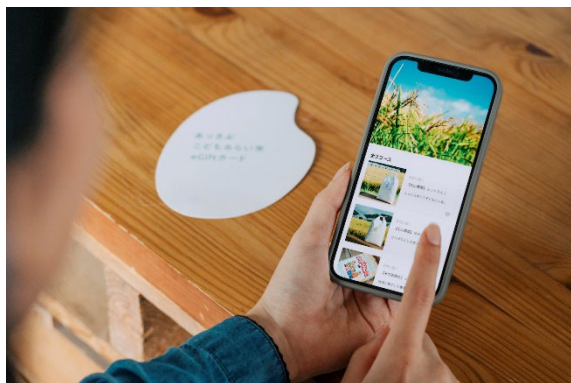
③事業成果

配布対象者数 293 件に対し申請件数（発送数）は 285 件となり、申請率は 97.2%であった。

また、お米を受け取る世帯には、お米のほかに、あっさぶ米が食卓に届くまでや、米農家、町内飲食関連の方々、厚沢部町長などのインタビューを子どもが読んでも分かりやすい内容とした「あっさぶ子どもみらい新聞」を配布。併せて、米農家へありがとうを伝える「ありがとうカード」を同封。

お米を受け取った家族からは、「とっても美味しくて満足しています。物価高の中、美味しいお米をいただけるのはとても助かります。家族で味わっていただきます。ありがとうございました」、「子供達にも、厚沢部産のふっくりんこだよと話して食べました」などの声を多数いただき、米農家からは、「多くの方から美味しいとの声が届くのは、とても嬉しい」、「翌年の予約購入にもつながりました」との声をいただいた。また、連携した農家においては、地元道の駅においてもお米を販売しており、「本事業実施後に売り上げが伸びている」との声もいただき、地場製品の消費拡大につながった。

また、アンケートでは、75%の方が、「今回の取り組みを通して、厚沢部産のお米の購入を増やしたい」とし、12.5%の方が、「購入を増やし、人にも勧めたい」と答えている。



④今後の展開

子育て世帯以外（高齢者、単身者など）への応用やお米以外の地域産品への展開（野菜セット、加工品など）なども視野に入れながら、経済支援策を契機に地域活性化につなげていきたい。

また、農家自体の高齢化に伴い、取り組みに対する理解はあるものの、個々による発送の負担等から連携に至らなかったケースもあり、今後は、これら負担軽減を図りながら事業を実施したい。